

船橋市立葛飾中学校への特別支援学級設置に関する陳情

【願意】

船橋市立葛飾中学校に知的障害特別支援学級の設置をお願い致します。

【理由】

1. 知的障害特別支援学級は、通常学級に通うことは不可能、かつ遠方に通うことは不可能
或いは危険性の高い児童が対象であるため、地元中学校における有無は極めて切実な
問題です。しかし、船橋市の中学校においては 26 校中 15 校の設置に留まっており、
近隣の柏市の 21 校中 20 校、市川市の 14 校中 11 校、習志野市の 7 校中 6 校と、知的
障害特別支援学級設置の切実さに鑑み 100 パーセントに近い状態を達成しつつあるこ
とと比較しても、大きな問題があると考えます。
2. 葛飾中学校は、船橋市最大の生徒数を持ち、潜在的な知的障害支援学級を必要としてい
る人数も多いと合理的に推察されることから、そこに知的障害特別支援学級がないこ
とは特に問題が大きいと考えます。
3. 葛飾中学校に知的障害支援学級が無いと、例えば小栗原小学校区の生徒は、徒歩 20 分
で通えていたところが、行田中学校に通うには、徒歩 25 分+バス 10 分+徒歩 7 分(+待
ち時間)が毎日かかります。バスには自力で乗れる生徒もそうでない生徒もいます。ま
た支援学校を選んだ場合、金堀校舎は遠く、災害時には大きな不安があります。
4. また学区内の葛飾小学校、小栗原小学校に共に知的障害支援学級が設置されておしま
すが、その受け皿が無いということも、解決すべきことです。これまで、幼稚園や保育
園からのつながり、小学校での交流学級等を通じて築いてきた、地元の友達とのつなが
りが、別の学区の学校に進まなければいけないことで切れてしまいます。
5. 葛飾中学校が最大の在籍数を持つ定型発達の子供達にとっても、これまで身近にいた
発達に特性のある同級生達が、中学に進むといなくなることで、今後益々重視されるイ
ンクルーシブな社会の感性を養うことができないことは、大きな損失です。
6. 親に目を向けてみても、遠方の学区に通える場合であっても、子供の通学支援が普通よ
りも多く必要であるため負担が大きくなり、更に兄弟がいる場合、子どもが異なる学校
に通うことも負担となります。
7. 船橋市は、予算と教員確保の制約がある中で、特別支援学級の設置を頑張って進めて頂

いていると理解しております。その上で、知的障害支援学級は地元になれば、引越すか、選択肢がない状況での特別支援学校を選択となる切実性が高く、そして船橋市最大の生徒数が在籍する葛飾中学校に知的障害特別支援学級がない状況を踏まえると、出来るだけ早期の同校同学級の設置をお願い致します。

8. 今回実施し、船橋市総合教育センターに提出したアンケート/署名活動のレポートを参考資料として添付致します。